

## 清水小 校長室だより No.39

2020. 2. 20(木) 文責：筒井

### ～鍛える～ たくましい心を！ 嫌なこともあります なんで学校に行かなきゃいけないの？

以前放送されたテレビ番組の話です。漫画家の井上きみどりさんの子育て論を紹介していました。

ある日、小学生の娘が「学校に行きたくない。」と言いました。



(税のハガキコンクール表彰)

母親のきみどりさんは「我が家では、病気とけが以外では、学校を休むことは認めません。」と話します。すると娘は、

「**なんで、学校に行かなきゃいけないの。**」と、聞きます。

きみどりさんは、娘にこう言いました。

「**学校は、いやなことがあるからよ。**」  
「いやなことがあったらどうするのか？」  
「友だちにいやなことをされたらどうするのか？」  
「学校は、人と人との関わりを身につけるところなの。だから学校に行くの。」  
そして、話の最後は、  
「**その代わりに、学校で起きたいいやなことは全部家でお母さんが聞いてあげるよ。**」でした。

私の記憶で書いていますので、多少の違いはあるかも知れませんが、ほぼこんな内容でした。

いろいろ考えさせられる話です。

本来学校は、友だちや先生達と楽しく勉強したり、遊んだりできる居心地のいい所でないといけません。私は、始業式等の折々に子どもたちによく話をします。

「清水小学校の全員の子ども達が毎日元気に学校に来て、友だちや先生達と楽しく過ごせる清水小学校にしたいと強く思っています。みんなでそんな清水小学校をつくりましょう。…」

でも、学校はいいこと、楽しいことばかりではありません。当然「いやなこと」もあります。

「相手の立場で考えること」「友だちの心や身体を傷つけるような言動はしないこと」「自分にも他人にも優しくすること」「いじめは絶対だめ」…そんな事を教えるのは、保護者や教職員など身近な大人の責任だと思います。

それと同時に「人にいやなことを言われたり、されたりした時どうするか」「不安や悩みを抱えた時どうやって解決するのか」…いろいろなことを経験し、悩みながら、自分にできる方法、自分に合った方法を選んで、解決していく力も必要です。また、発達段階に応じて、「世の中には、自分の

思いどおりにならないことがあることも当然だ。」ということを知覚することも大切なことです。自分の思いどおりにならない時に、どうしたらいいのか。ぐつとがまんすることも



(ボルダリング)

あるだろうし、時には、相手に納得してもらうように自分の気持ちを伝えることも必要ですし、その力も大切です。

世の中には、自分の思いどおりにならないことやいやなこともたまにはあるけれど、そんなことに負けないで、乗り越えていかななくてはいけないということも、小学校の時期に少しずつ、身につけて欲しいと願っています。

毎日子ども達は、大勢の友だちとかかわりながら、様々な経験をしています。そうして『生きる力』をつけていきます。

その時々々に周りにいる私達大人が、どう子どもに関わっていくのがいいのか、一緒に考えていけたらいいなと思います。

いつかの終業式でこんな話をしました。

「…4月から気になっていることがあります。…友だちと嫌なことがあったので休みます。そんな電話が時々かかってくるのです。…大勢の子どもたちがいるのが学校です。嫌なこともあります。けんかをすることもあります。でも、そんなことで学校を休んで欲しくないです。心も体ももっともっとたくましくなって欲しいです…」

ある研修会で「若い先生を叱ったら、次の日からこなくなった…」と話す県内の校長がいました。たくましくなって欲しいのは子どもだけではないのかも知れません。

「…校長先生もいっぱい嫌なことがあるで、怒られることもいっぱいある。いやなこともあるけど、それ以上にいっぱい楽しいことがあるけん学校が好きながよ…」そんな話を男の子と校長室でしたこともあります。私も「**たくましい校長**」でありたいと思っています。

### 残念！ 初雪は降らず…

昨日はこの冬一番の寒さだった。私の車のフロントガラスもこの冬初めて凍った。朝7時の学校駐車場の気温0℃。



登校してきた4年生の女子が霜を持って来てくれた。(写真) チャレランの後で、2年生の男子も校庭のすみに雪(霜)があったと報告してくれた。

今回の寒気で清水でも雪が降るかもと予報がされていた。前日、明日「雪が降ったら雪合戦しよう！」と約束した子もいたが、残念ながら初雪にはならなかった。隣の中村や黒潮町では、雪がうっすら積もったようだ。次回に期待！